詩部門 小学生の部

最優秀賞

心のきず

朝倉東小学校2年 稲葉 依茉

きずつけたことに気づかないだから人は 見えない心は 見えない

きずついた人は わすれないきずつけた人は わすれても心のきずは きえない

人をきずつけてほしくないだから みんなにもだから わたしは

入選

こころ

馬田小学校3年 原口 凌大

こころって、紙みたい

丸めていた紙をくしゃくしゃにもんくを言いながら

シワシワでくしゃくしゃのままだった言いながら広げても「ごめんなさい」って

こころって、紙みたい

くしゃくしゃのままこころはあやまっても

詩部門 小学生の部

入 選

ともだち

蜷城小学校一年 内藤 充希

さそってくれる「いっしょに あそぼう。」ってともだちって すてきだな

しんぱいしてくれる「だいじょうぶ。」ってころんだとき

わらわせてくれる「あははは。」ってひとりぼっちでいるときともだちって おもしろい

ともだちって うれしいねともだちって うれしいね

詩部門 小学生の部

人選

平和のこと

大畑 伸太朗

馬田小学校3年

みんなが笑顔ですごせるようになってほしい せんそうがない平和な世界で

ヒロシマやナガサキの原ばくの話 でも、かなしくなった 毎日たくさんの人がなくなっているせんそうの話 今もあるかくへいきの話

学校に行って、べんきょうをして、 当たり前の生活って、しあわせなんだな おふろに入って、ねて、 家に帰って宿題をして、 きゅう食を食べて、友だちと遊んで、 はみがきをして、ごはんを食べて、 今のぼくは、朝おきて、

平和につながること友だちを大切にすることけんかをしないこと